

## 1. 授業の概要(ねらい)

この授業では、地域社会の担い手として近年定着してきているNPOやNGO等の非営利組織について、組織形態や運営実態といった基礎的な知識の修得から始めます。修得した知識を基に、非営利組織が日本の社会にどのように定着し、どのような役割を果たしているのかについて具体的な事例を通して概説します。調整がつけば、外部講師を招いて非営利組織の活動事例に関する講演・ワークショップを2回程度予定しています。この授業では、特に地域経済学科の学位授与の方針(ディプロマポリシー)DP2に関する知識・態度を修得します。

## 2. 授業の到達目標

日本の地域社会における非営利組織の概要や社会における役割について、具体例を示しながら説明することができる。

## 3. 成績評価の方法および基準

平常点とテストで評価します。得点配分は平常点40%、テスト60%です。平常点は小レポートや質疑応答等を基に評価します。テストは論述式で、知識の修得度と応用力を問います。フィードバックは全授業が終了後に、希望者に対して口頭で行います。

## 4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は使用しません。講義プリントを配布します。

参考文献

田尾雅夫、吉田忠彦 非営利組織論 有斐閣、ISBN:978-4-641-12389-2

山下祐介 地域学をはじめよう 岩波書店、ISBN:978-4005009275

## 5. 準備学習の内容

授業の事前学習として、資料を配付する場合があります。これを通読し、分からない語句は辞書等で調べ、ノートにまとめるようにして下さい(1時間)。事前学習でまとめたノートは、授業時に持参するようにして下さい。事後学習として、配布資料の復習及び図書・新聞・WEB等で授業と関連する事例を調べ、ノートにまとめるようにして下さい(2時間)。

## 6. その他履修上の注意事項

地域づくり論 I とは相関関係にあります。原則として、授業中は携帯電話・PCの使用を禁止します。携帯電話・PCの使用が必要な際には適宜指示します。また、授業中の私語は禁止とします。受講生の関心や授業の進行状況等により、授業内容が変更となる可能性があります。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション、非営利組織とは何か
- 【第2回】 非営利組織の果たす役割
- 【第3回】 非営利組織の種類
- 【第4回】 慈善活動
- 【第5回】 非営利組織の財源
- 【第6回】 NPO法人の設立・運営
- 【第7回】 高齢社会と地域づくり
- 【第8回】 海外における非営利組織の活動事例
- 【第9回】 災害ボランティア
- 【第10回】 被災者支援の活動事例
- 【第11回】 非営利組織と行政とボランティアとの連携事例
- 【第12回】 地域を調べる(1)―地域の概要―
- 【第13回】 地域を調べる(2)―非営利組織の活動―
- 【第14回】 非営利組織と地域社会
- 【第15回】 テスト、まとめ